



2011年9月21日

各 位

会 社 名 イオン北海道 株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 柴田 祐司
 (コード番号 7512 東証1部・札証)
 問合わせ先 取締役兼常務執行役員
 管理本部長 天廣 俊彦
 (TEL 011-865-9405)
 当社の親会社 イオン株式会社
 取締役兼代表執行役社長 岡田 元也
 (コード番号 8267 東証1部)

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2011年4月14日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。また、当第2四半期会計期間において特別損失を計上する見込みとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 個別業績予想数値の修正

(1) 2012年2月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正 (2011年3月1日～2011年8月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	74,900	2,000	1,500	220	2円12銭
今回発表予想 (B)	75,205	3,610	3,289	1,034	9円96銭
増減額 (B-A)	305	1,610	1,789	814	
増減率 (%)	0.4	80.5	119.3	370.0	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2011年2月期第2四半期)	74,726	1,665	1,324	768	7円40銭

(2) 2012年2月期通期個別業績予想数値の修正 (2011年3月1日～2012年2月29日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	150,500	5,300	4,400	1,350	13円00銭
今回発表予想 (B)	150,500	7,000	6,200	2,200	21円18銭
増減額 (B-A)	—	1,700	1,800	850	
増減率 (%)	—	32.1	40.9	63.0	
(ご参考) 前期実績 (2011年2月期)	150,214	4,781	4,235	1,787	17円22銭

(3) 修正の理由

北海道の小売業を取り巻く環境は、東日本大震災の影響から来道する観光客が大幅に減少するなど厳しい状況が続いております。消費マインドは、震災直後の過度な自粛ムードは収束しつつあるものの、円高の進行など景気の先行き不透明感により個人消費は、低迷の状況が続いております。

このような環境の下、当社は昨年より取り組んでいる売場の活性化を更に積極的に進め、手芸・雑貨やサイクル等高収益部門の新設・拡大を含め、衣料・食品・住居余暇売場においてスピードをあげて取り組んでまいりました。また、売場什器の見直し・再配置を行ったことにより定番商品の品揃え拡充や作業効率の改善が図られ、売上総利益率の改善に寄与するとともに人件費の低減にも貢献いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は752億5百万円（前年同期比100.6%）、営業利益36億10百万円（前年同期比216.8%）、経常利益32億89百万円（前年同期比248.4%）、後述の貸倒引当金繰入額等の特別損失10億73百万円を計上した結果、四半期純利益10億34百万円（前年同期比134.7%）となり、売上高・営業利益・経常利益・四半期純利益ともに前回予想数値を上回る見込みであります。

また、通期業績予想は第2四半期累計期間の業績予想の修正に伴い修正しております。

(注意事項)

上記記載の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 特別損失の計上について

当社が保有する債権の回収可能性の見直しを行った結果、2012年2月期第2四半期会計期間に特別損失として5億56百万円の貸倒引当金繰入額を計上する予定であります。

なお、この特別損失につきましては、上記「1. 個別業績予想数値の修正」に反映済みであります。

以 上